

歴史・民俗文化を訪ねて

～おひながゆを体験してみませんか～

上野村に残る歴史・民俗文化に触れる1泊2日の旅。

旧黒澤家住宅にて、田舎の味「おやき」を食べ、古くから上野村で行われているおひながゆを見学。

そして、最後は打って変わって、超近代的な東京電力神流川発電所の見学。

上野村を知る第一歩はここから始まります。

日程

平成20年

4月2日(水)～3日(木)

1日目

旧黒澤家住宅にておやき試食
上野村の歴史・観光案内(ガイド付き)
国民宿舎ヴィラせせらぎ宿泊

2日目 おひながゆ見学(早朝より)

現地にてお粥の朝食
東京電力神流川発電所見学
正午解散予定

参加費

お一人様(1泊2食付) **9,000円**
2名様1室利用

小学生 7,500円

幼児(3歳以上) 4,000円

※3名1室利用時はお一人様1,050円引

※1名1室利用時は1,050円増

おひながゆって? (国選択無形民俗文化財)

「おひながゆ」の起源は、大昔、川に流され疲れ果て、たどり着いたお姫様を、粥を炊いて介抱したのが始まりであると言えられてきたが、お城の入口を、村の北側の小高いところにある天神様の社に向かって作ったり、天神様の人形を飾ったりするのを見ると、子供達の学力向上祈願の意味も考えられ由来は定かではない。

寒い冬が終わって3月になると子供達は10人前後の組を作り「おひながゆ」の準備を始める。組ごとに神流川の川原に集まり、協力しあって石を積み上げ、お城と呼ばれる円形の囲いを作る。石でかまどを築き、枯れ木を燃やし、鍋で粥を炊いてお雛様にあげ、子供達は朝食を取る。朝食の後片付けが終わると、カルタ、トランプ、クイズなどで一日お城で仲良く楽しく過ごすのである。



旧黒澤家住宅

国指定重要文化財
江戸時代に代々大庄屋を務めた黒澤家の住宅。19世紀中頃の建築といわれ、大庄屋としての特徴をよく残している。



東京電力神流川発電所

世界最大級の揚水式発電所
地下500mに作られている巨大地下発電所。(見学無料)



国民宿舎ヴィラせせらぎ

関東一の清流、神流川のほとりに建つ静かな温泉宿。
上野村の大自然が眺められる露天風呂は爽快です。
夕食は和洋折衷の田舎料理。
静かに訪れる上野村の春を体感してください。



■集合場所:国民宿舎ヴィラせせらぎ 14:30

■JR 高崎線新町駅より送迎あり(要予約)

■募集〆切 3月20日(木)

■お申し込み・お問い合わせ

■定員 25名

(株)上野振興公社 0274-59-2584

■最低施行人数 10名

■主催:上野振興公社 協力:上野村役場・上野村教育委員会